



中規模の機械メーカーでは、見つからない部品データを作成する作業に月平均15時間も費やしています。この作業を減らすために、総合電気設計CAD EPLANは、新しいData Portal Request Processをもとにお客様が部品データをメーカーにリクエストできるようになりました。部品データの品質規格（EPLAN Data Standard）を持った部品データの充実や、ABB社とSiemens社の新しいセレクタにより、エンジニアリングがいつも容易になったうえ、全米防火協会（NFPA）の規格もサポートしました。

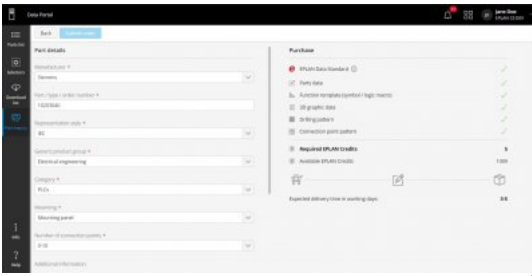


Josefine Heck. jpg : 「新しいData Portal Request Processによって、可能な限り部品データ作成をサポートします」と、EPLANの事業者支援統括Josefine Heckは説明しています。

2022年5月、ドイツ・モーンハイム発：できるだけ標準化された適切な部品データを素早く手に入れる—これは現代のプロジェクト業務において、重要な要素です。EPLAN Data Portalでは数百万点の部品データを提供していますが、それでもときには、同ポータルで必要なデータが見つからない時があります。こうした場合、部品データをユーザー自ら作成しなければなりません。この作業に時間をとられ、多大なコストが発生することもありました。しかし、新しいData Portal Request Processによって、この作業をEPLANがサポートします。部品データを作成する手間を大幅に省くとともに、確実に標準化された正確なデータを利用できます。

リクエストから部品データの利用まで

EPLAN Data Portalで見つからない部品データがあれば、その部品データ作成をEPLANにリクエストできます。ユーザーは先に一定量の金額を支払い、リクエストごとに1部品何クレジットというように、都度必要なクレジットが消費されます。リクエストされた部品データはEPLANの対応チームが部品データの品質規格EPLAN Data Standardに基づき数日以内に作成します。



Data Portal Request Process.jpg : シンプルな入力フォームによって、お客様は必要データのリクエストを簡単に行えます。

この新サービスは、お客様のエンジニアリング・プロセスを大幅に軽減します。EPLANの事業者支援統括Josefine Heck は次のように説明しています。「新しいData Portal Request Processは、可能な限り部品データ作成をサポートします。このサービスを通してお客様が、本来の設計作業や業務に集中できるようにしているのです」。

NFPA規格への対応

今回、EPLAN Data Portalは米国のNFPA規格に対応しました。さらに、世界市場での本当に協業的なエンジニアリングに向けた一歩となるよう、規格によって部品データが検索できるフィルタも実装しています。

ABB社およびSiemens社から新セレクトが登場

新しいセレクトの登場も、同ポータルユーザーにとってもう一つの魅力です。ABB e-Configureは、たとえばモータ保護用サーキットブレーカやヒューズ/リレー、パワースイッチなどの選定をサポートするグローバル対応のコンフィグuratorとして、統合されました。また、Siemens Electrical Product Finderもポータルに組み込まれており、設計者はSiriusシリーズの小型スタータや過負荷リレー、モニタリング・リレーなど多数の部品データを検索できます。

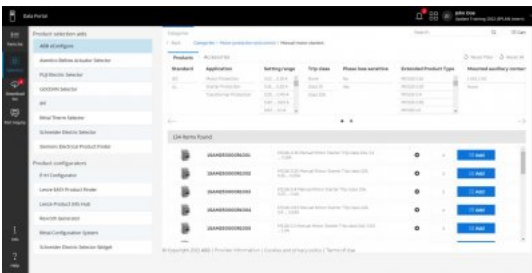


ABB e-Configure.jpg : ABB e-Configureセレクトが統合され、モータ保護用サーキットブレーカやヒューズ/リレー、パワースイッチなどの構成がEPLAN Data Portalで簡単に行えるようになりました。

部品データの品質規格 EPLAN Data Standardの充実

EPLAN Data Portalでは500,000点を超える部品データが、すでに高品質なデータ基準を満たしています。今回新たに流体動力の分野など、これまでは利用できなかった製品グループを追加定義してEPLAN Data Standardに盛り込みました。流体動力分野の最大手の1社であるFesto社はすでに、約50,000点および同社製品の1/4が対応しています。

イープランソフトウェア&サービス (EPLAN Software & Service)

EPLANは、電気制御盤・装置の「設計」「製作」「運用」の効率化を実現するためのソフトウェアとサービスをご提供しています。機械や制御盤メーカーに向けて、世界トップレベルの設計ソフトウェアを開発するとともに、難しい設計製造プロセスの効率化にも高い技術力でお応えします。

全バリューチェーンを通じたデータの一貫性を実現するには、ERPやPLM/PDMシステムに対するインターフェイスが重要です。EPLANをご利用いただければ、全てのエンジニアリング分野にわたってシームレスな連携が可能になり、中小企業からグローバル企業まで、企業の大きさに関わらず、お客様の専門技術をもっと効率的に活用できます。EPLANは、設計から製造までつながるエンジニアリングと自動化を推進し、お客様をサポートしています。すでに「効率的なエンジニアリング (Efficient Engineering)」を理念として全世界で58,000社以上のお客様を支えています。

1984年創立のEPLANは、オーナー経営によるFriedhelm Loh Group (フリードヘルム・ロー・グループ) の一員です。Friedhelm Loh Groupは、全世界で12カ所の生産拠点と96社の子会社を運営しています。グループ全体で12,100名の従業員を擁し、2019年の売上は約26億ユーロに達しました。

より詳しい情報につきましては、www.eplanjapan.jpとwww.friedhelm-loh-group.comをご覧ください。

EPLAN Software & Services 株式会社
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-5-11金子第1ビル7階

--

電話番号：045-274-7904
ファックス：045-274-7905
info@eplanjapan.jp